

精密工学会北陸信越支部 2010年度 臨時総会及び商議員会議議事録

日 時： 平成22年5月22日(土), 15:00~16:00
場 所： 金沢大学角間キャンパス自然科学3号館3B216会議室

(以下文中は敬称略)

議 事：

臨時総会

[0] 総会成立確認／支部長挨拶

- ・出席者16人, 委任状138人, 合計154人より, 支部の正会員数322人の1/3以上(108人以上)であり, 総会が成立することが確認された.
- ・新支部長より議事に先立ち挨拶があった.

[1] 公益法人への移行の説明

- ・前庶務幹事より, 社団法人から公益法人へ学会の移行が進んでいることやそれらの違いについて説明があった.

[2] 支部規則及び支部催事引当金規則の廃止

- ・公益法人化に伴い, 本部で各支部共通の支部運営規定が作られ, その新规定に移行するため, 従来の北陸信越支部の規則(「精密工学会北陸信越支部規則」及び「支部催事引当金取扱規則」)を廃止することを承認した.

商議員会議

[3] 成立確認

- ・出席者8人, 委任状18人, 合計26人より, 支部の商議員数32人の過半数(17人以上)であり, 商議員会議が成立することが確認された.

[4] 新しい支部運営規定及び支部活動費積立資産取扱規則の追認

- ・公益法人化に伴い, 本部で新しく各支部共通に作られた, 「精密工学会支部運営規定」及び「支部活動費積立資産取扱規則」を北陸信越支部として追認した.

[5] 2010年度役員

- ・今年度の支部役員の確認がなされた. 以下の訂正の指摘があった.
商議員の松岡浩仁氏の勤務先: 信州大学地域共同センター
会誌編集委員会委員: 岩部洋育(新潟大学)
歴代支部役員 of 2010年度各県幹事欄に前頁の氏名を記入

[6] 2009年度事業報告および決算報告

- ・幹事会議事録
確認した.
- ・事業報告
通常の行事に加え, 数多くの周年事業が行われたことが報告された.
- ・決算報告
周年事業により収支とも例年より多額であったことが報告された.
200万円の引当金取崩は周年事業にあてられ, 引当金残額は200万円強に減少した.

決算を承認した。

[7] 2010年度事業計画および予算案

・支部総会・学術講演会・各県主催特別講演会・見学会

今年度の支部総会・学術講演会が11月に長岡技術科学大学にて行われることが報告された。例年と異なり、2日のスケジュールである。会告案の開催日（11月5,6日）と講演時間（発表13分, 討論7分）の訂正があった。

現時点で予定されている各県の特別講演会や見学会の報告があった。今後、企画が増える予定。

・2010年度収支予算

周年行事がなくなったため、通常の前算に戻った。

予算を承認した。

ただし、本部からの運営費が当初予定より減少することが分かった。今年度は繰越金でカバーできるが、長い目で見れば、今後は支出を節約する必要がある。

[8] その他

・2011年度の全国（秋季）大会が金沢大学で開催されることが、実行委員会庶務幹事より報告され、協力を依頼された。

・本部と支部の技術賞や奨励賞について、支部活性化委員より応募の勧誘があった。また、支部奨励賞の規定が変更される（次回商議員会議で審議）予定とのアナウンスがあった。

以上